



# 飼料用トウモロコシの 収量アップを目指しましょう

令和2年3月 栃木県

## ポイント1 ほ場の準備 ~排水対策~

飼料用トウモロコシは**湿害に弱い**ので、排水のよい場所で栽培しましょう。

○排水性が悪いと…

〔 初期生育が悪化  
根張りが悪化 → 乾物収量が減少 〕

### ※排水性の改善

- ◆サブソイラによる心土破碎
- ◆明きよや暗きよの設置 等



左：排水の良いほ場、右：排水の悪いほ場

## ポイント2 適正施肥で収量up! ~基本は組み合わせ施肥~

**土壌診断**ではほ場の土壌成分を確認しましょう！

診断結果を基に**施肥設計**をしてください。

- ◆ 堆肥のみ、化学肥料のみでは生育のバランスが悪化。
- ◆ 堆肥と化学肥料を組み合わせることで、収量が向上します。

＜飼料用トウモロコシの施肥基準（kg/10a）＞

成分	窒素	りん酸	加里
施肥量	22	20	35
堆肥3t/10a時の 施肥量（化学肥料）	20	8	10

※堆肥3tの成分含量 N：P：K=2.1：12.0：24.6（kg）

## ポイント3 適期に播種しましょう！ ～計画的な作業を～

### 【播種時期】

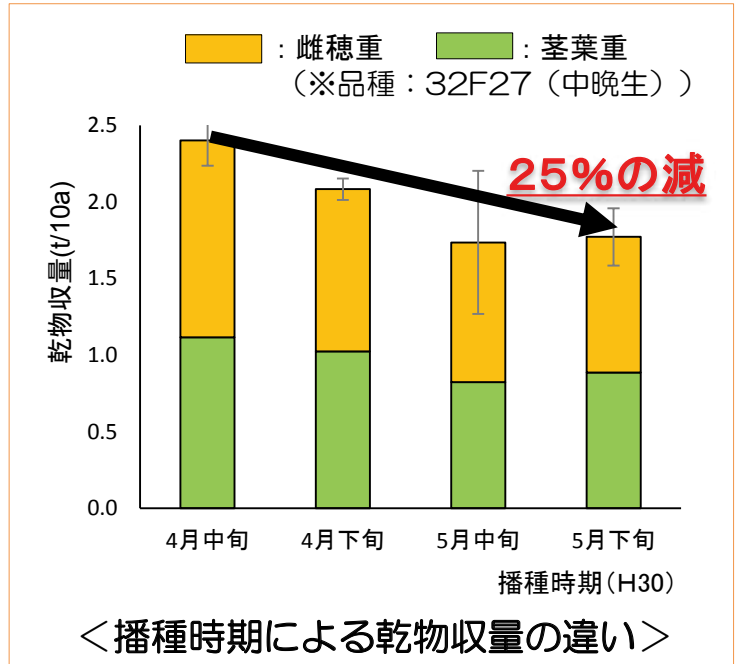
- 4月中旬～5月の早い時期に播種しましょう。

- 遅れると…

〔 乾物収量が減少  
雌穂割合が減少 〕

※播種が遅れる場合

◆早生品種を用いる



### 【栽植密度】

- 品種別栽植密度を守りましょう。  
播種前に必ず播種機を調整

- 過度に密植すると…

〔 茎が細くなりやすい  
着雌穂高が高くなりやすい 〕

↓ 倒伏 病害虫発生 } の危険性大



## ポイント4 雑草防除で収量アップ！ ～基本は土壌処理～

### 【土壌処理剤】

- 発芽、出芽前に除草剤をしっかり散布して、雑草の発生を抑制！  
ほ場は平らに整地してから播種、鎮圧することがポイント  
除草剤を均一に散布できます

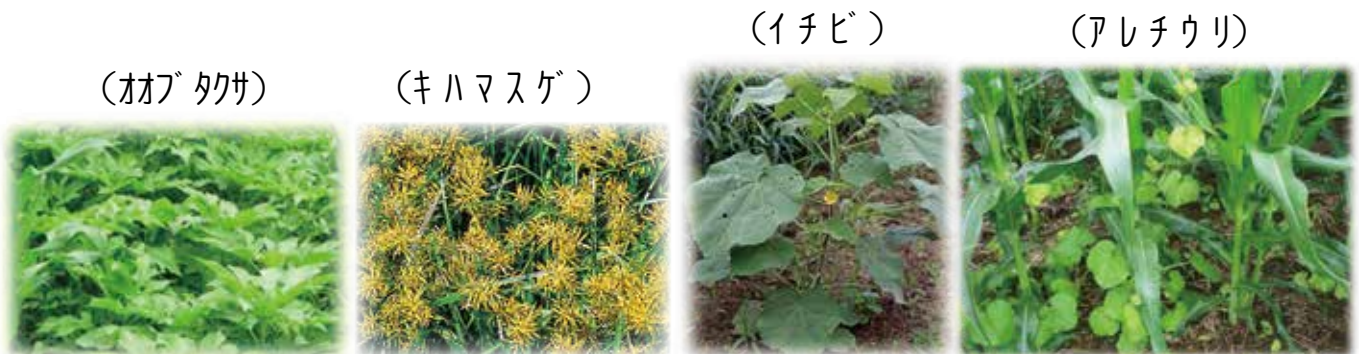
除草剤で畑を  
マルチするイメージ

＜飼料用トウモロコシの土壌処理剤の混合使用（例）＞

薬剤名	使用時期	使用量		成分名	成分の総使用回数
		薬量(ml/10a)	希釈水量(L/10a)		
・ラッソー乳剤	播種後 出芽前	300～600	100	アラクロール	1回
・ゲザプリムフロアブル		100～200	50～100	アトラジン	

## 【茎葉処理剤】

- ・ 雑草発生後は、**種類を見て薬剤を選択。**
- ・ 降雨情報を確認の上、散布作業を実施しましょう。
- ・ 雑草の茎葉にしっかり付着するよう散布。



### ＜飼料用トウモロコシ生育初期の茎葉処理剤（例）＞

有効雑草 (例)	薬剤名	使用時期	使用量		成分名	成分の 総使用 回数
			薬量	希釈水量 (L/10a)		
多年生 イネ科雑草	ワソフ <sup>®</sup> 乳剤	トウモロコシ3～5葉期 ・但し収穫30日前まで	100～ 150ml/10a	70～100	ニコル70ソ	1回
オオブタクサ ・アレチウリ	アルファード <sup>®</sup> 液剤	トウモロコシ3～5葉期 ・但し収穫45日前まで	100～ 150ml/10a	100～150	トブラマジソ	1回
イチビ・ キハマスゲ	シャド- 水和剤	トウモロコシ3～5葉期	50～ 75g/10a	100	ハロニソ メチル	1回
イチビ	バルバカット <sup>®</sup> 乳剤	トウモロコシ4葉期以降 ・但し播種後45日まで	5～10ml/10a	100	フルチアセット メチル	1回

**農薬の情報は令和2年3月時点です。  
最新の情報を確認し、正しく使用して下さい。**

## ポイント5 適期に収穫しましょう！ ～良質な発酵を目指して～

### 【収穫時期】

- ・ **黄熟中～後期**がサイレーシ調製に最適。



- ◆糖が多く、栄養価が高い
- ◆乳酸発酵に適した水分含量

- ・ 黄熟期の判断方法

**ミルクラインが子実の中央**にある時期



## 栃木県 飼料用トウモロコシ奨励品種

「P0640」 (極早生)RM110

乾物収量が多く、  
雌穂割合が高い品種

収量 kg/10a	乾物	TDN
	1,720	1,230
穂重割合 (%)	栽植密度 (本/10a)	
54	6,800~7,200	



「KD641」 (極早生)RM114

耐倒伏性に優れ、  
茎葉・雌穂の収量が多い品種

収量 kg/10a	乾物	TDN
	1,819	1,297
穂重割合 (%)	栽植密度 (本/10a)	
48	6,000~6,500	



「P2088」 (早生)RM118

乾物収量が多く、  
雌穂割合が高い品種

収量 kg/10a	乾物	TDN
	1,848	1,343
穂重割合 (%)	栽植密度 (本/10a)	
54	6,800~7,200	



「P2105」 (中生)RM123

耐倒伏性に優れ、  
雌穂割合が特に高い品種

収量 kg/10a	乾物	TDN
	1,964	1,464
穂重割合 (%)	栽植密度 (本/10a)	
61	6,800~7,200	



## 栃木県 飼料用トウモロコシ認定品種

品種	早晩生	RM	収量 (kg/10a)		雌穂割合 (%)	栽植密度 (本/10a)
			乾物	TDN		
36B08	極早	106	1,408	974	57.1	6,800~7,200
34N84	極早	108	1,411	1,013	53.6	6,800~7,200
SH4681	早	115	1,669	1,218	53.9	6,500~7,000
KD671	早	117	1,705	1,216	48.6	6,000~6,500
ZX4182	早	118	1,643	1,168	48.0	6,800~7,200
KD731	中	123	2,013	1,459	53.3	6,000~6,500
P2307	中晩	125	2,086	1,429	54.3	5,800~6,200
SH4812	中晩	125	1,977	1,540	51.7	6,000~6,500

お問い合わせ先：畜産酪農研究センター 企画情報課  
各農業振興事務所 経営普及部  
経営技術課 技術指導班  
畜産振興課 環境飼料担当

TEL：0287-36-0768  
最寄の事務所にお問い合わせください  
TEL：028-623-2321  
TEL：028-623-2350